

子供がのびのび成長できる環境づくり

3年4組2番 石垣 莉音

1. はじめに

現代社会においては子供の遊び場の減少傾向であることが問題になっている。この問題に加えて子供が外で遊ぶことが減っていることが明らかにされている。

そこで私はこの問題について探究したいと考えた。

きっかけとしては待機児童の増加や育児放棄など子育てに関するニュースを見かけることがだんだん増えて自分も子育て支援に貢献できることがあればしたいと思ったのと調べていく中で子育てしやすい環境とは何か考えるようになって遊び場の減少が子供が成長することを妨げていると感じたので遊び場をもっと作りたいと思った。そこで子供の遊び場に焦点を当て取り上げることにした。

2. 序論

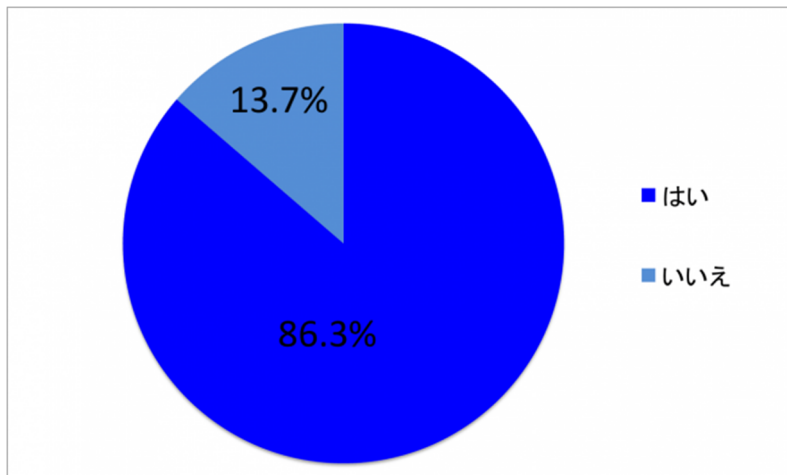
子供がのびのび成長できる環境といえば何を浮かべるか。

私はのびのび成長できる環境とは地域との交流が多い地域や子育て支援をしている地域、そして一番大事なのは遊び場が多い地域だと考える。子供が遊ぶ場所と言われて一番最初に思い浮かぶのが公園だという人が多い。私たちが小さい頃は学校の休み時間を使って外遊びをしたり近所には公園も多く外で遊ぶことの方が多かっただろう。私たちは外で遊ぶことは良い事だと思って過ごしてきた人が大半だが、そもそもなぜ外遊びが大切なのかを問う必要がある。そこで本論では子供の外遊びもしくは体力作り遊びの必要性について論じることにする。

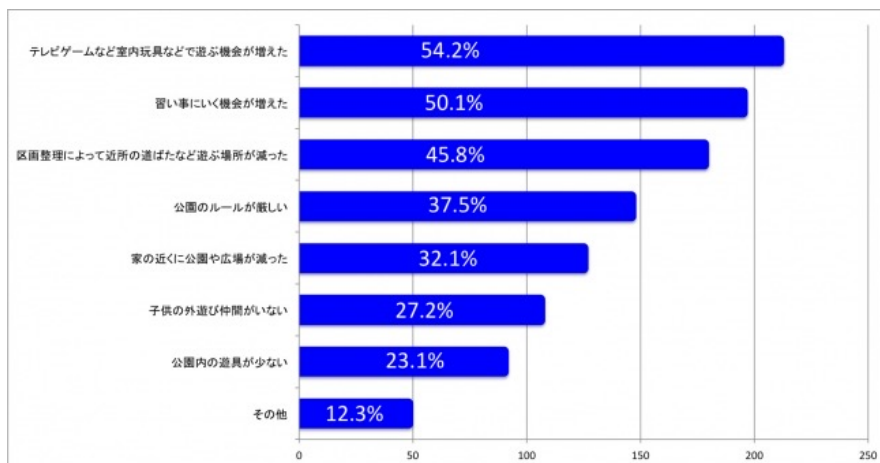
3. 本論

小さい頃公園、放課後の学校のグラウンドなどで遊んだ人が多い遊び場で子供にとって1番身近なのは公園だが、近年ビルが増えたり都市化などが進み、公園の縮小化、減少、そして公園の遊具が減少している。子供が怪我をしたり危険な遊具も多く撤去されている遊具が多くそして公園で遊ぶ子供が減少しているのが現状だ。近年は新型コロナウイルスによりスマホゲームや家で楽しめる動画配信サービスなどが流行した結果、外遊びをする子供が減ってしまう原因により繋がってしまったと推測できる。

実際に一般社団法人YBP PROJECT が2018年10月に行った子供の外遊びについてのアンケート調査をイベントWEBサイト、メール会員、イベントSNSを通じて行ったところこのような結果が出た。



このグラフは「あなたが幼児期から小学生の時と比べ、子供の外遊びの機会が減少したと感じますか？」と保護者を対象にしたアンケート結果になる。子供の外遊びが減少したと感じる保護者は86.3%になる。



2つ目のグラフは「子供の外遊びが減少した理由」と保護者にアンケートを取ったものになる。

上から

- ・ テレビゲームなど室内玩具などで遊ぶ機会が増えた が54.2%
- ・ 習い事にいく機会が増えた が50.1%
- ・ 区画整理によって近所の道ばたなど遊ぶ場所が減った が43.8%

など本論の冒頭の通り近年の都市化などが進んだことによって公園がなくなり近所で遊ぶ場所が無くなったということが実際の調査でも分かる。

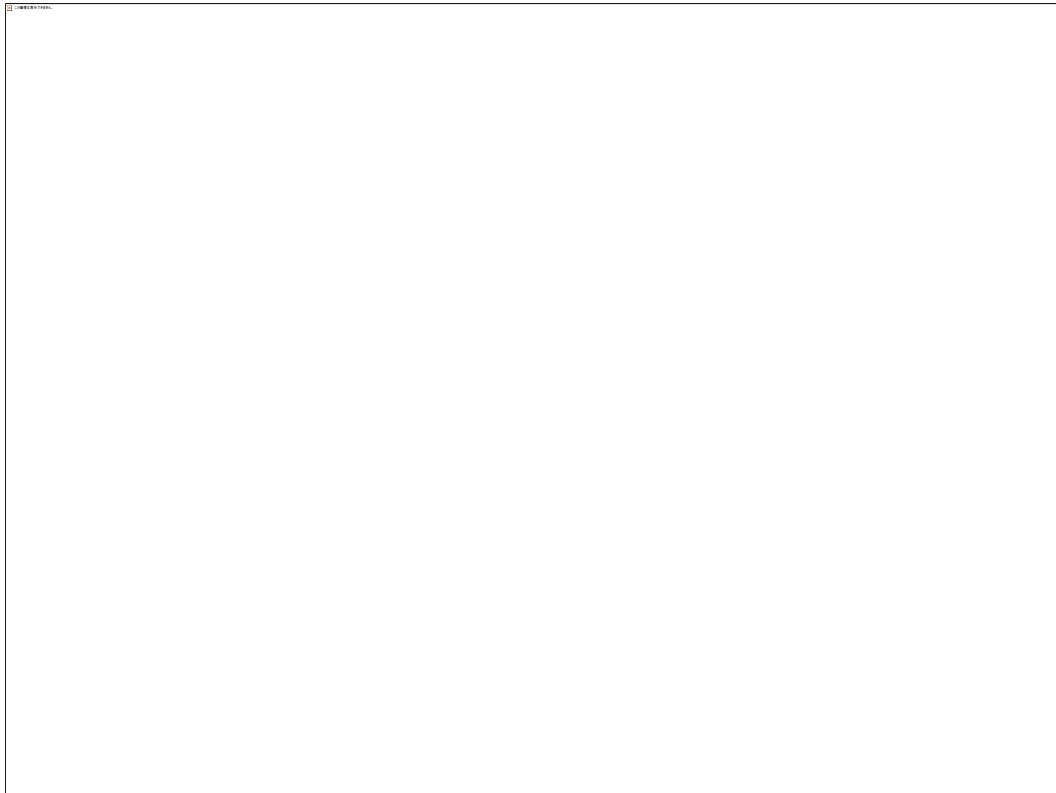
その他にも親が共働きで帰宅が遅いため、平日は外で遊びにくいという回答や37.5%が「その他公園のルールが厳しい」と回答しており、子供を外遊びさせたくても、遊ばせる場所が減少していることも、外遊びが減少した理由として考えられる。

そもそも外遊びが大事な理由は

- ・あらゆる運動能力を鍛えることができる
- ・ルールを守る精神や協調性、忍耐力を身につけることができる
- ・遊びへの意欲の向上など様々な理由がある。

私たちの体育も外だけではなく体育館などの室内でもやるのと同じく子供たちが屋内でも体力作り遊びや運動ができる場所が沢山存在する。しかし、屋内屋外どちらも施設料がかかる場所がほとんどで公園のように無償で誰でも使える場所が少ないのが現状である。私達もよく見かけるショッピングモールの室内遊園地や屋外もしくは屋内アスレチックも増えているが施設料がかかる場所がほとんどだ。特に屋内の施設は天候の状況や施設料がかかる遊び場へ毎週末子供を遊びに連れて行こうと考えると金銭面では少し負担が大きいのではないかと考えられる。

実際に東京都渋谷区ではこのようにプレイストリートを利用した「渋谷どこでも運動場プロジェクト」を実施している。
これが実際に行われている様子になる。



この渋谷どこでも運動プロジェクトは遊具がなくても遊び道具も個人で用意出来るし誰でも楽しめるのではないかと思います。そして子供たちは家以外の場所で1人で遊ぶのは非常に危険で怪我だけでなく誘拐などの危険性があるように常に誰かが見ている状態でないといけません。しかしこのプロジェクトであれば常に保護者や見守りの方がいるので子供も安心して遊ぶことができます。

4. 結論

これを踏まえ全体の課題としては

- ・体力作り遊びをする子供が減っている
- ・施設料が必要な遊び場が多い、無償で誰でも使える場の減少などが挙げられる。

そこで今後私が取り組んでいきたいことは

主に共同利用契約、もしくはプレイストリートを利用した遊び場の提供をしていきたい。プレイストリートは公共スペース内を時間指定で借りることであり、個人でも学校や消防署、警察署などにかかけ合えば実施できる。共同利用契約は公的機関と民間団体もしくは非営利団体が契約して施設の市民利用を認めることである。個人だけでは中々実行するのは難しいが、個人でもできるプレイストリートは実施しやすく無償で誰でも使える遊び場を提供することが出来る。家の中では出来ない例えば、ボール遊びや鬼ごっこなどの大人数での遊びも可能で、場所を大きく使って子供たちが遊ぶこともできる。共同利用契約やプレイストリートを通じて子供たちに遊び場を提供して行けたらいいなと思う。

私たちが小さい時に沢山遊んだように子供にとって遊びというのは必要不可欠なものだと思う。年々変化もあり、最近はゲームや動画配信サービスが流行る中外遊びや体力作り遊びをする子は減少傾向だがこのような取り組みをすることで運動を楽しむ心や遊びの楽しさを育てて欲しい。

5. おわりに

この探究をしていてまだまだ子供が遊べる環境が無いことに気づいたし、アンケートなどからも分かるように外遊びなどの体を使う遊びの楽しさを知らない子が増えてしまっているのが残念だなと思った。小さい時は今のようにスマホもなく外で遊ぶことが当たり前だと思っていたのが最近はゲームなど室内玩具も充実しているから外で遊ぶことは当たり前じゃなくなってしまうとより運動する子が減ってしまったんだと思う。なのでそういったものを上手に利用して体を使った遊びができるゲームや天候が悪くて外で遊べない日でも外と同じように家で楽しめるゲームが増えるといいなと思った。それと同時に私も成長していくことでスマホゲームや別のことに夢中になって体を使って遊ぶ楽しさを忘れつつあるなと感じた。なので運動してリフレッシュしたり運動の楽しさを忘れないように生きていきたいと思う。

6. 参考文献・出典

“子供の「外遊び」が減少したと感じる保護者は86.3%【子供の「外遊び」と「スポーツ」の取り組み】に関する、保護者を対象としたアンケート調査を実施” PRTIMES

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000010289.](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000011.000010289)

渋谷どこでも運動プロジェクト ホームページ

<https://tokyoplay.jp/shibuyadokodemo/>